

然別湖白雲山におけるシロシラガゴケの生育地

乙幡 康之¹⁾

Leucobryum glaucum (Hedw.) Ååongstr. found at Mt. Hakuun of lake Shikaribetsu,
Hokkaido, Japan

Yasuyuki OPAATA¹⁾

はじめに

シロシラガゴケ *Leucobryum glaucum* (Hedw.) Ååongstr. は、北半球に広く分布し(岩月 2001), レッドデータブックでは絶滅危惧 I 類に指定されている(環境省 2015). 本種は、一般的に高層湿原周辺の灌木の根元等に群落を形成するが(岩月 2001), 長野県の八ヶ岳と北海道の然別湖では、岩塊斜面の隙間に生育することが報告されている(樋口・島立 2014, 乙幡 2016). 今回、然別湖周辺の調査をおこない、白雲山においてシロシラガゴケの新たな生育地を確認したので報告する.

北海道におけるシロシラガゴケの分布

日本におけるシロシラガゴケは、本州と北海道に分布し、本州では長野県、栃木県、福島県、岩手県、青森県の本州中部以北に分布する(野口 1959, 高岡 1991, Yamaguchi 1993, 福島県生活環境部環境政策室自然保護グループ 2002, 樋口・島立 2014).

北海道においては、根室市歯舞湿原、標津町標津湿原、弟子屈町屈斜路湖、豊富町サロベツ湿原から記録されている(Yamaguchi 1993, Oguri et al. 2003, 2006, 樋口・上野 2015). 東大雪地域では、これまで本種の報告はなかったが、近年、然別湖南方の千畳崩からシロシラガゴケの生育が確認されている(乙幡 2016). また、釧路市立博物館に収蔵されている4点のホソバオキナゴケ *L. juniperoides* の標本を再同定した結果、標茶町産の2点はシロシラガゴケであることが明らかになった. これらの記録をもとに作成した北海道におけるシロシラガゴケの分布を図1に示す.

地域概要

鹿追町と上士幌町に跨る然別湖周辺は、然別火山によって形成された岩塊斜面が発達する. 岩塊斜面は風穴になっていることが多い、「然別湖周辺の風穴地帯と東雲湖」として日本蘚苔類学会の日本の貴重なコケの森に選定されている. 標高900mに位置する千畳崩の岩塊斜面からは、乙幡(2016)によりシロシラガゴケの生育が確認されている. 調査は然別湖周辺(白雲山、天望山、西ヌプカウシヌプリ、東ヌプカウシヌプリ)の4つの山で行った. 採集標本はすべてひがし大雪自然館に収蔵している.

白雲山のシロシラガゴケ

白雲山(ヌプカの里コース)の2地点でシロシラガ

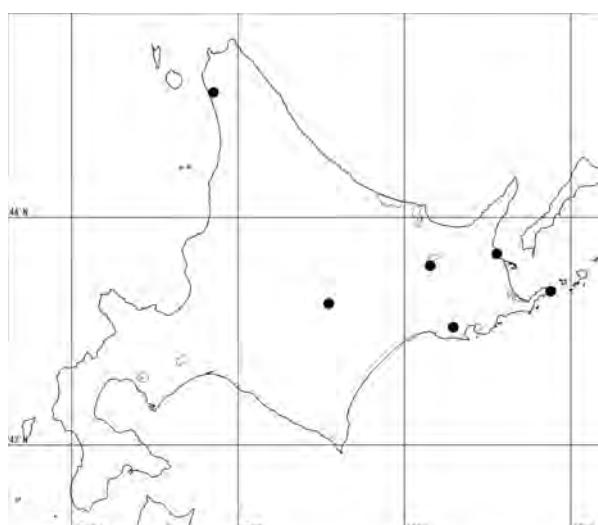


図1. 北海道におけるシロシラガゴケの分布
Fig.1. The geographical distribution of *Leucobryum glaucum* in Hokkaido

1) ひがし大雪自然館 〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷48-2

Higashitaisetsu Nature Center 48-2 Nukabira-gensenkyo, Kamishihoro-cho, Kato-gun, Hokkaido 080-1403 Japan

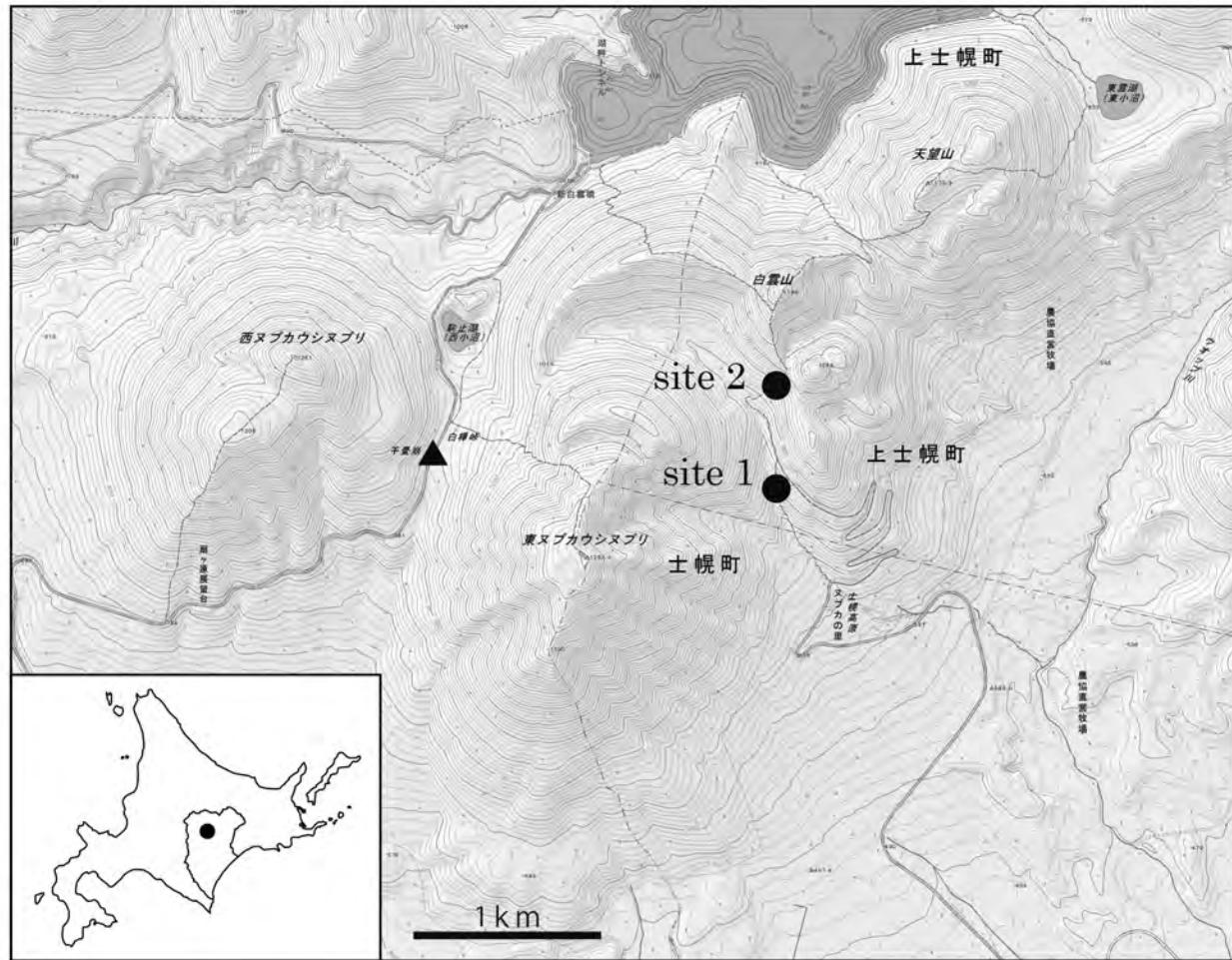


図2. シロシラガゴケの分布（国土地理院電子国土基本図より作成）。

● 本調査, ▲ 乙幡 (2016)

Fig.2. Distribution of *Leucobryum glaucum* in lake Shikaribetsu.

● this study, ▲ Oppata (2016, in Japanese)

表1. シロシラガゴケの生育環境
Table 1. The habitat of *Leucobryum glaucum*

No.	Coll.	Alt.	Substrata	Slope direction	Num. of colonies	Tree layer	Shrub layer	Herb layer
1	Yo-2748	807m	humic soil	S71° E	13	<i>Betula ermanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i> <i>Vaccinium smallii</i> var. <i>smallii</i> <i>Leucothoe grayana</i> <i>Menziesia pentandra</i>	<i>Sasa veitchii</i>
2	Yo-2749	964m	humic soil	S51° W	9	<i>Picea glehnii</i> <i>Betula ermanii</i>	<i>Rhododendron dauricum</i> <i>Ledum palustre</i> ssp. <i>diversipilosum</i>	<i>Empetrum nigrum</i> var. <i>japonicum</i>

ゴケの群落が確認された（図2、表1）。

地点1（標高807m）はダケカンバが優占する森林で、クマイザサが林床を覆う。本地点では面積約30×20cm、群落高15cmのマウンド状のシロシラガゴケが13群落確認された。

地点2（標高946m）は、岩石山（標高1088m）の西斜面に発達した岩塊斜面で、アカエゾマツ、ダケカンバから成る明るい疎林である。林床はガンコウランが生育している。本地点では面積10×10cm～

30×30cm、群落高15～20cmのマウンド状のシロシラガゴケが9群落確認された。

地点2の環境は、岩塊斜面であり乙幡（2016）による千畳崩と立地環境は類似している。一方、地点1は岩塊が見られず林床にササ類が発達していることから、千畳崩及び地点2とは異なり、シロシラガゴケの生育地としては稀な環境である。また、然別湖周辺のシロシラガゴケ群落は、山の北向き斜面（湖側）には見られず、3地点全てが南向き斜面に分布する傾向が

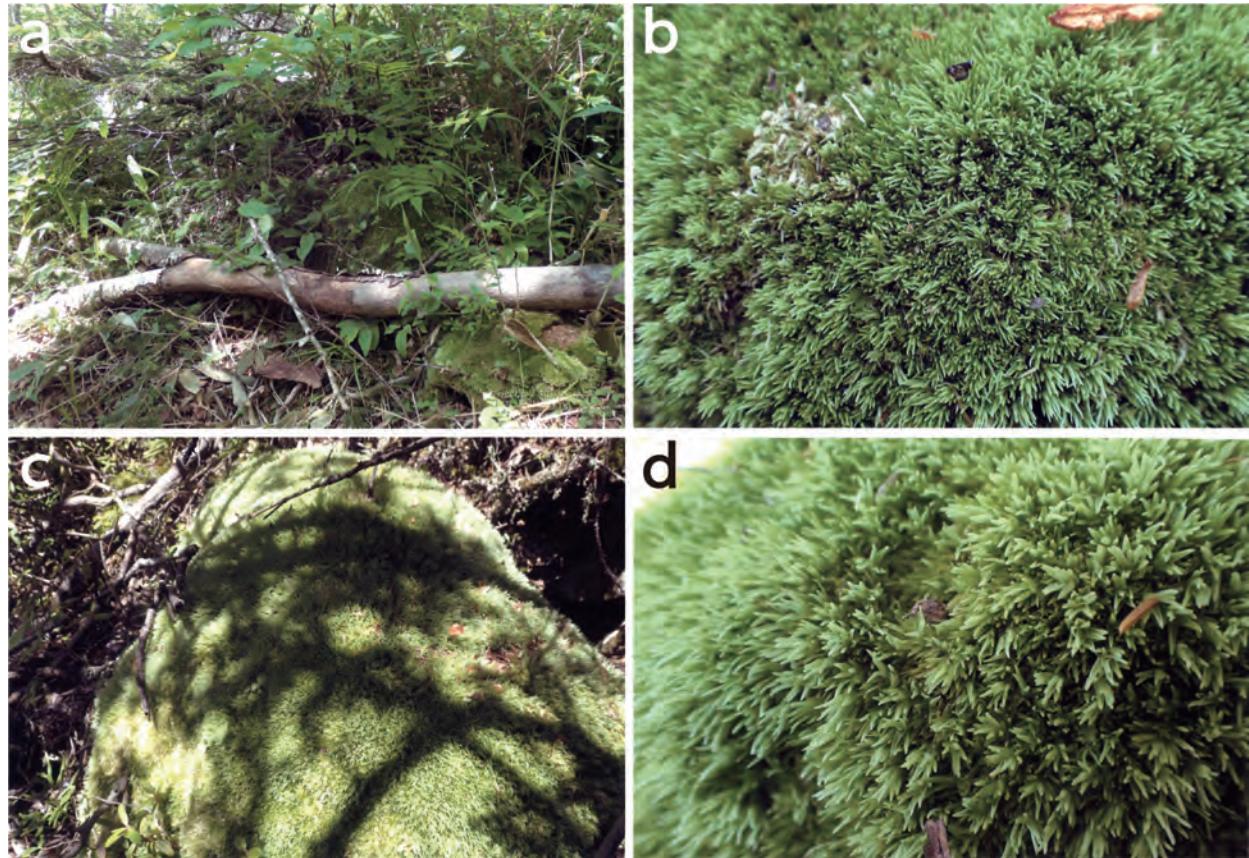


図3. 腐植土に生育する白雲山のシロシラガゴケ。
a, b (site 1), c, d (site 2)
Fig.3. *Leucobryum glaucum* growing on humic soils at Mt. Hakuun.
a, b (site 1), c, d (site 2)

あった。

今回の調査によって、然別湖周辺にはシロシラガゴケが複数地点生育することが明らかになった。今後は、調査範囲を広げ、東大雪地域のシロシラガゴケの分布と立地環境を明らかにしたい。

Leucobryum glaucum (Hedw.) Ångstr.

Specimens examined: Japan, Hokkaido, Kato-gun, **Kamishihoro-cho**, Mt. Hakuun, 43°14' 53.62" N, 143°06' 54.49" E, 807m alt., on humic soil, 7 Jul., 2016, yo-2748. 43°15' 15.40" N, 143°06' 54.82" E, 964m alt., on humic soil, 7 Jul., 2016, yo-2749 (Herb. Higashitaisetsu Museum of Natural History). Kawakami-gun, **Shibecha-cho**, Arekinai, 90m alt., on rotten stump, 23 Oct., 1977, tk-412. 90m alt., on rotten stump, 16 Nov., 1980, tk-413 (Herb. Kushiro City Museum).

謝 辞

本調査を進めるに当たり、釧路市立博物館の加藤ゆ

き恵博士には、収蔵標本の借用など便宜を図っていたいたい。ここに記し感謝の意を表します。

引用文献

- 福島県生活環境部環境政策室自然保護グループ
(編), 2002. レッドデータブックふくしまI—福島県の絶滅のおそれのある野生生物—(植物・昆虫類・野鳥). 417pp. 福島県生活環境部環境政策室自然保護グループ, 福島市.
- 樋口正信・島立正広, 2014. 長野県八ヶ岳のシロシラガゴケ. 蘚苔類研究, 11:78.
- 樋口正信・上野 健, 2015. 北海道東部のシロシラガゴケ. 蘚苔類研究, 11:140-141.
- 環境省 (編), 2015. レッドデータブック2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—9 植物II (蘚苔類・藻類・地衣類・菌類). 580pp. ぎょうせい, 東京.
- 野口 彰, 1959. 十和田湖畔の蘚苔類植生. 生態学研究, 15:53-64.

- Oguri, E., Yamaguchi, T., Tsubota, H. and Deguchi, H., 2003. A preliminary phylogenetic study of the genus *Leucobryum* (Leucobryaceae, Musci) in Asia and the Pacific based on ITS and rbcL sequences. *Hikobia*, 14: 45–53.
- Oguri, E., Yamaguchi, T., Tsubota H, Shimamura, M. and Deguchi, H., 2006. Morphological and molecular analyses to solve a taxonomical controversy of *Leucobryum juniperoides* (Brid.) Müll. Hal. and *L. humillimum* Cardot (Leucobryaceae, Musci) in Japan. *Hikobia*, 14: 387–398.
- 乙幡康之, 2016. 北海道大雪山国立公園, 東大雪地域のシロシラガゴケ. 蘚苔類研究, 11:214-215.
- 高岡正之 (編), 1991. 栃木県立博物館自然部門収蔵資料目録 (4) 変形菌植物・地衣植物・蘚苔植物. 101pp. 栃木県立博物館, 宇都宮市.
- Yamaguchi, T., 1993. A revision of the genus *Leucobryum* (Musci) in Asia. *J. Hattori Bot. Lab.*, 73:1–123.

Summary

Leucobryum glaucum (Hedw.) Ålongstr. was confirmed at two sites at Mt. Hakuun-zan. The site 1 was forest floor covered with Sasa, and the site 2 was growing on block slope. This species tends to be distributed on the south-facing slope of the Shikaribetsu volcanic mountains.